PART3 反語形

二 反語形

＊ 一 疑問と同じ形のものは基本的に省略します（その場合は**送り仮名「〜ン・〜ンや」が反語の目印**。白文の場合は**文脈判断**）。
それ以外の「**反語**」特有の句法をここで紹介します。

① **豈**〜（**哉・乎**）＝あニ〜**ン**（**や**）／（どうして〜だろうか、いや、〜ない）

（例） 豈ニ古之糸(し)竹(ちく)ナラン乎。〔豈に古の糸竹ならんや。〕（どうして昔の楽器であろうか、いや、ちがう。）

② **寧・焉・悪・安**〜（**哉・乎**）＝いづクンゾ〜**ン**（**や**）／（どうして〜だろうか、いや、〜ない）

（例） 国焉得レ無レ亡(ほろ)ブル乎。〔　　〕（　　）

③ **豈能**〜＝あニよク〜**ン**／（どうして〜できるだろうか、いや、できない）
安能〜＝いづクンゾよク〜**ン**／（どうして〜できるだろうか、いや、できない）
誰能〜＝たれカよク〜**ン**／（誰が〜できるだろうか、いや、誰もできない）

④ **敢不～乎**＝あヘテ～ざ**ランや**　／（どうして～しないことがあろうか、いや、～する）

（例）敢不知乎。〔　　〕（　　）

⑤ **何Ｎ之有**＝なんノＮカこレあ**ラン**／（何のＮがあろうか、いや、何のＮもない）

（例）何難（キコトカ）之有。〔　　〕（　　）

⑥ **如何・奈何・若何**

〈文頭〉いかんゾ～**ン**／（どうして～だろうか、いや、～ない）

〈文末〉～ハいかんセン／（～はどうしようもない）

⑦ **可～乎**＝～**べケンや**／（～できるだろうか、いや、できない）

（例）何（ゾ）可（ケンヤ）レ緩（ゆるクス）。〔何ぞ緩くすべけんや。〕（どうして緩めることができようか、いや、できない。）

＊ 疑問詞〜ン
　 〜ンや
　 疑問詞〜ンや　｝＝反語

＊ 〜ン＝推量

問四　「豈古之鶯(おう)花(かナラン)乎。」の傍線部の読みを、送り仮名も含めて平仮名で示せ。また全文を口語訳せよ。

読み＝

口語訳＝

問五　「晏(あん)子(し)焉知礼」を反語の意味になるように、すべて平仮名で書き下し文にせよ（現代仮名遣いでもよい）。

問六　「豈有(ラン)下以(テシテ)二忠信(ヲ)一而得(ル)レ罪(ヲ)者上乎。」を現代語訳せよ。

● 人何(ゾ)頼(ラン)焉。〔人何ぞ頼らん。〕（人がどうして頼るだろうか、いや、頼らない。）

● 何(ノ)功(ナルか)也。〔何の功なるか。〕（どのような功績であるか。）

問七 「此所レ用翠羽幾何」の解釈として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　これを作るのに必要な翠羽はとても多い。
イ　これを作るのに必要な翠羽はいくらでもある。
ウ　これを作るにはある程度の翠羽を必要とする。
エ　これに使われた翠羽はたかが知れている。
オ　これに使われた翠羽はどれくらいか分からない。

問八 「城中安得レ有二此獣一」の解釈として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　まちに虎がいて安全といえるのだろうか
イ　まちに虎がいるはずがないではないか
ウ　まちに鼠がいるのは当然ではないか

第4講 PART3 確認問題

①「可ケンレ不ルレ慎マ歟。」にはどのような句形が用いられているか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　使役　　イ　反語　　ウ　限定　　エ　比較　　オ　禁止

②「豈同二他妓一哉。」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　どうしても他の妓女たちと同じにしたいのです。

イ　どうやら他の妓女たちと同じらしいのです。

ウ　どうして他の妓女などと同じでありましょうか。

エ　もちろん他の妓女たちと同じはずです。

③ 反語の意味にしかとることができないものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　何為(レゾ) 不(ラン)レ 受(ケ)。

イ　安(ンゾ) 足(ランヤ)レ 辞(スルニ)。

ウ　焉(ンゾ) 知(ラン)レ 死(ヲ)。

エ　何(ゾ) 可(ケン)レ 当(タル) 也。

④「君子はどうして兄弟のないことを悩むだろうか、いや悩まない。」という意味になるものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　君子何(なんゾ)患(うれヘン)三 乎無(キヲ)二 兄弟一 也(や)。

イ　君子何(あヘテ)患(うれヘン)三 乎無(キヲ)二 兄弟一 也(や)。

ウ　君子何(いづクニ)患(うれヘン)三 乎無(キヲ)二 兄弟一 也(や)。

エ　君子何(なんすレゾ)患(うれヘン)三 乎無(キヲ)二 兄弟一 也(や)。

⑤ 「不₂敢西向₁」について、（A）その読み方と、（B）これを「敢不₂西向₁」と変えた場合の読み方の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

a 西に向かふことを敢へてせず、
b 敢へて西せずして向かはず、
c 敢へて西に向かはず、
d 敢へて西に向かはざらんや、
e 敢へて西せずして向かはざらんや、
f 西に向かふことを敢へてせざらんや、

（A）―（B）
ア a―e
イ a―f
ウ b―d
エ b―f
オ c―d
カ c―e

〈Memo〉

第４講　PART3　解答

二
②〔国焉くんぞ亡ぶる無きを得んや。〕（どうして国が亡びないことがあろうか、いや、亡びる。）
④〔敢へて知らざらんや。〕（どうして知らないことがあろうか、いや、知っている。）
⑤〔何の難きことか之れ有らん。〕（何の難しいことがあろうか、いや、何も難しくない。）

問四　〈読み〉　あに
〈口語訳〉　どうして昔の鶯や花であろうか、いや、違う。

問五　あんしいず〔づ〕くんぞれいをしらん

問六　どうして忠信を理由に罪を得る者がいるだろうか、いや、いない。

問七　エ

問八　イ

第４講　PART3　確認問題　解答

〔解説〕

① 「〜ンや」は反語の句形。よって、イが正解。

② 「豈〜哉」は反語の句形。よって、ウが正解。

③ ア・イ・ウは、疑問と反語の句形に違いがなく、送り仮名の「〜ンや」がついているかどうかで意味を見分ける。エは「可〜也」という反語特有の句形である。よって、エが正解。

④ 現代語訳から、「何〜」を「どうして〜」と訳すものを選ぶ。アは「何」を「なんゾ」と読んでおり、「どうして〜か（いや、〜ない）」と訳す。イは「何〜」にない読み方。ウは「何」を「いづクニ」と読んでおり、「どこに〜か」と訳す。エは「何〜」にない読み方。「なんすレゾ」と読むのは「何為〜」である。よって、アが正解。

⑤ 「不敢〜」は「あヘテ〜ず」で、「決して〜ない」の意味。「敢不〜」は「あヘテ〜せざランヤ」で、「どうして〜しないだろうか、いや、する」の意味。返り点通りに読むと、AもBも最初が「敢」なので、a・f以外。その次に「ず」や「ざら」など、打消の読みが重複しているbとeも削除。そうすると語順より、Aがcで、Bがd。よって、オが正解。

〔解答〕

① イ　② ウ　③ エ　④ ア　⑤ オ